

社会科部会

研究主題 調べたことをもとに自分の見方や考え方を深め表現する力を高める指導

1 主題について

今年度も、基礎的・基本的な知識，概念や技能の習得に努めるほか，思考力・判断力・表現力等を確実にほぐすため，言語活動の充実を図り，社会参画に関する学習を重視することをねらいとして，本主題を設定した。

2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
4月12日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	10月31日	第2回総合研究会 授業研究会（扇田小学校）
9月27日	授業指導案 事前研究会 （扇田小学校）	11月13日	交流授業研究会 （上川沿小学校）

* 授業研の後，五十嵐校長先生による「八郎太郎と辰子姫の真実の物語」と称して，伝説と現存物との関係を紐解く興味深い講話をしていただいた。

3 研究内容

(1) 授業研究

- ・期 日 平成24年10月31日（水）
- ・会 場 扇田小学校
- ・単元名 3年「農家の仕事～全国一の比内特産，とんぶりを有名にしよう」
- ・授業者 橘 範広

① 授業者から

- ・自分たちが住んでいる比内町で作られているとんぶりが，全国一の生産量をあげていることを知り，ふるさとへの誇りをもたせたかった。
- ・見学から得た知識をもとに，「疑問→解決→努力や工夫」の理解につながっている。
- ・ゲストティーチャーを効果的に活用しようと計画したが，指導者側の意図をくんで丁寧な説明を心がけてくれた。

② 協議（ワークショップから）

〈視点1〉

- * ゲストティーチャー（以下G T）の活用のしかたは，本時のねらいに迫る上で効果的であったか。
- ・ 見学後の疑問を解決するための手だてとして，G Tの活用は大変良かった。しかし，児童の質問の精選や視点の吟味，質問時間の有効な活用などが課題であった。
- ・ G Tとリアルタイムで話すことができる環境や担任との連携が良かった。ただ，質問が一問一答式になりがちだった。



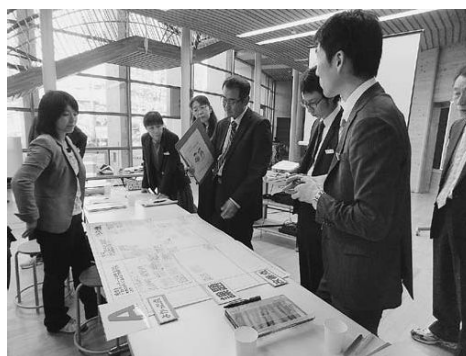
【グループでの交流】

- ・「全国一としての努力や工夫」が伝わるような，応答が欲しかった。G Tの説明の言葉も難しくわかりにくいものもあった。G Tとの打ち合わせの重要性を実感させられた。

〈視点2〉

*グループでの話し合い（言語活動の充実の工夫）は、自分の見方や考え方を深めるために有効であったか。

- ・見学の内容を想起させるために、情報コーナーや見学の写真などの環境は効果的であったが、授業の中でもっと活用できると良かった。
- ・グループでの話し合いの有効性を考えたい。3年生としては「深める」より「報告」でよい。「聞いてまとめる」は3年生には高度ではなかったか。
- ・板書が丁寧に大変素晴らしい。発表の話形の提示も社会科の言語活動を充実させるためにも効果的であった。



【ワークショップ】

(2) 指導助言（多賀谷 雅人 指導主事）

① 本時の授業について

- ・見学後に発生した新たな疑問をG Tで解決する活動が展開された。児童の課題追究の意欲が高まっており、質問した後にメモを取る子どもの姿があった。
- ・「調べて分かったことは三つです。」などの話形は思考を整理するために効果的であり、発表や話し合いの基礎となっていく。
- ・情報コーナーが充実しており、見学したことをすぐに想起できる環境作りであった。

② 本時の核となるもの

- ・工夫（行動）と努力（精神）を分けることは難しい。両方関連している事であり「こんなにたくさんの工夫をして、努力しているんだね。」とまとめた方がよい。
- ・見学に行く前に工夫を予想させること、予想を確かめに見学に行くこと、見学後に発見してきた工夫を分類・整理することが大切である。育苗・収穫・出荷の工夫など、生産の順番や、働く人や経営者の視点で、おいしく作る工夫、仕事が楽になる工夫などで分類・整理することもできる。児童が主体的に分類・整理する活動を仕組みたい。

③ 単元について

- ・本単元は、5年生で学習する農業の学習とは違う。地域で働く人々のたくさんある仕事の種類の一つとして農家（生産と加工）の仕事調べることが大切である。
- ・教科書の単元の配列は学習指導要領の並びと違うことを確認したい。「教科書を学習」から「教科書で学習」することが大切であり、地域素材の教材化を楽しんで行いたい。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・地域素材を積極的に活用したことは、今後の学習のあり方を再確認することができた。
- ・G Tを活用することは、リアルタイムに児童の疑問を解決でき効果的であった。

(2) 課題

- ・地域素材を活用した単元を構築する場合、ねらいに迫るための教材研究や最終的な目標をしっかり設定しなければならない。グループでの話し合いを設定する場合、学年に応じて話し合いの内容を精選する必要がある。